

いただいたご意見とそれに対する市の考え方

●岐阜市立地適正化計画(案)に関する質問・要望

【立地適正化計画全般】(23件)

番号	質問・要望	該当地域	市の考え方	案の修正
1	都市計画マスタープランの生活拠点において、これまでにどのような取り組みをし、どのように変わってきたのか。また、この計画の通りになっていくのか。	南東部①	これまでは、主に中心市街地活性化計画に基づき、中心市街地で各種事業を行ってきました。 本計画では、都市機能や居住を誘導する区域を明確に示し、地域生活の拠点になる部分を定めています。今後、この計画に基づき、各種施策を検討し、計画の実現を図っていきます。	-
2	既に策定済みの自治体はあるのか。また、計画策定の効果はどうか。	中央部②	平成28年12月末の時点で4都市が計画を公表しています。 本計画は、長い期間をかけて緩やかに誘導を図っていく計画であり、効果については、今後評価していきます。	-
3	策定する目的は何か。また、計画策定後の具体的な施策は考えているのか。	北西部①②	本計画は、人口が減少しても暮らしやすいまちづくりを目指すことを目的としています。 具体的な施策は、計画策定後にそのメリット、デメリットを見極め、検討していきます。	-
4	郊外では住宅も増え、大型ショッピングモールも建設されているのに、今回の計画では中心市街地への一極集中に聞こえ、社会的な現状とあっていないのではないのか。	中央部②	本計画は中心市街地に機能を集約させるものではなく、それぞれの地域生活圏に拠点をつくり、生活に必要な機能を確保することを目的としています。 将来的には市全体の人口が減少することが確実なため、人口が減少しても暮らしやすいまちづくりを目指しています。	-
5	この計画には、制限や強制力のようなものがあるのか。	北西部①②	本計画は、規制や強制するものではありませんが、居住誘導区域外や都市機能誘導区域外での一定の開発行為や建築行為を行う場合、届出が必要となります。	-
6	少子化の流れは止めることができず、大都市であろうと人口減が避けられないと思います。その中で都市を集約化していくことは、インフラ面や財政面だけでなく、そこに住む人のコミュニティ力を維持することにも欠かせないと思います。ある程度は市が指針を示して、どこに住んで欲しいかの位置付けは大切であり、妥当な計画だと思う。	北東部④ (ホームページ)	本計画を策定し、コンパクトなまちづくりと、これと連携した公共交通のネットワークを形成することにより、健康で快適な生活を確保し、持続可能な都市経営を推進していきます。	-
7	計画はいつ頃から実行していくのか。	南西部①②	平成28年度末に計画を公表する予定です。	-
8	市の部局だけで策定したものか。	北西部①②	本計画を作成するにあたり、各部局の主管課長で構成する庁内検討プロジェクトチームにより、原案の作成や関連計画及び事業間の調整など、横断的な協議を進めてきました。 また、学識経験者や地域の代表者等で構成された岐阜市都市計画審議会において、ご意見をいただきながら作成を進めてきました。 さらに、昨年6月にはパブリックコメントを実施しており、この住民説明会の意見等も踏まえ、本計画を策定したいと考えています。	-
9	近隣市町と連携はされているのか。	北東部②③④	近隣市町へは、本計画の内容などについて、本市から情報提供を行うとともに、意見交換などを行っています。	-
10	岐阜市総合計画との整合性はとれているのか。	柳津 (南西部①②)	本計画の基本理念や将来都市像は、「岐阜市総合計画」などに定められたまちづくりの方針を踏まえ作成しています。	-
11	この計画は都市内分権推進構想の方針とあっているのか。	柳津 (南西部①②)	岐阜市都市内分権推進構想では、「地域ごとの住民サービスの拡充」、「住民自治の拡充」、「地域の拠点づくり」の、3つの目標を掲げています。 本計画は、この中の「地域の拠点づくり」の考え方を踏まえたものです。	-

番号	質問・要望	該当地域	市の考え方	案の修正
12	用途規制など従来の都市計画法等との関連性はどうか。	南東部②	都市計画法に基づく従来の都市計画は、用途地域などにより建築に対して規制をかけていますが、本計画は、住宅や生活利便施設を誘導施策により時間をかけて緩やかに誘導を図るものです。	-
13	都市計画マスタープランとは別のものか。	北西部①②	本計画は、都市再生特別措置法に基づき作成するもので、都市計画マスタープランの一部に位置付けられます。	-
14	東海環状自動車道のインターによる効果があると思うが、この計画でどう対応しているのか。	北西部③	東海環状自動車道が整備されると、産業、物流、観光の活性化や、これに伴う雇用、人口の増加が期待できるため、早期開通を国に要望するとともに、ICへ連結するアクセス道路の整備を進めています。	-
15	東海環状自動車道への幹線道路の具体的な整備計画は含まれているのか。	北西部③	道路整備などの具体的な基盤整備につきましては、岐阜市都市計画マスタープランにおいてその方針を示しています。	-
16	河川改修計画が載っていない。住み心地や安全性の確保には基盤整備が重要ではないか。	南東部②	河川整備などの具体的な基盤整備につきましては、岐阜市都市計画マスタープランにおいてその方針を示しています。	-
17	河川の拡幅について資料のマスタープランの抜粋の図に載っていない。	南東部②		
18	人口減少のための計画だが、人口増加のための計画はないのか。	北西部③	本計画は、人口が減少しても一定のエリアに人口密度を維持することにより、暮らしやすいまちづくりを目指すことを目的としています。 連携を図る計画の一つとして「岐阜市まち・ひと・しごと創生総合戦略」があり、その中で人口減少対策についての方針や施策を示し、進めることとしています。	-
19	この計画では、地域力(経済基盤力及び雇用創出)を生み出す力が見えてこない。	北西部③ (FAX)	本計画は、本市の様々な計画や施策と連携を図ることとしており、産業の活性化や雇用の創出のための施策とも連携を図り、暮らしやすいまちづくりを進めていきます。	-
20	この計画は、他市に出掛けることなく、市内の施設を利用してもらうことを狙いとしていると思うが、人が他市に流れない魅力のあるまちづくりが必要ではないか。	北東部④ (FAX)	本計画の策定時に連携を図った「岐阜市まち・ひと・しごと創生総合戦略」などが互いに連携することで、魅力あるまちづくりの実現を目指しています。	-
21	概要版(P2)の目指すべき都市構造イメージと概要版(P4,5)の誘導区域図の違いは何か。立地適正化計画では誘導区域図を優先するという点でよいのか。	南東部②	都市構造イメージは、総合計画や都市計画マスタープランに基づいた目指すべき都市のイメージです。これを立地適正化計画の制度に当てはめ、具体的に誘導区域を定めたものが誘導区域図となります。	-
22	概要版(P3)の郊外居住区域、集落区域の地域住民の協働とは、どのようなことを考えているのか。	南東部①	まちづくりや地域づくりについて、住民が地域づくりの主体としての意識をもち、様々な人が協力し合う、まちづくり協議会などの市民活動を考えています。	-
23	地域別の施設等が示された資料は、現在の状況を表しているのか、将来の計画を表しているのかどちらか。	南西部①②	お配りした各地域生活圏の誘導区域や都市機能施設を示した図は、現在の状況を表したものです。	-

【居住誘導区域】:(3件)

番号	質問・要望	該当地域	市の考え方	案の修正
24	居住誘導区域内に防災マップで着色された区域(土砂災害警戒区域等)が含まれているのではないかと。また、防災対策との連携等は大丈夫か。	南東部①	本計画策定にあたり、防災の担当部局を含む庁内検討プロジェクトチームを設置しています。 土砂災害特別警戒区域等は、土砂崩れ等が突然起こる可能性が高い区域であることから、居住誘導区域から除外しました。 また、浸水想定区域については、防災行政無線による情報伝達や避難誘導体制等が、岐阜市地域防災計画に基づき、総合的に確立されていることから、居住誘導区域から除外していません。	-
25	公共交通軸の設定は、現状なのか、20年後の将来なのか。	北西部③	本計画で示す公共交通軸は、岐阜市地域公共交通網形成計画を基本としておりますが、現在運行しているバス路線なども勘案しております。	-
26	居住誘導区域の設定が、幹線バス路線から500mであるが、基盤整備がされていない区域を含めているのはなぜか。	北東部②③④	本計画では、公共交通を都市の基軸と考えており、公共交通の利便性が高い幹線バス路線沿線を居住誘導区域としています。	-

【都市機能誘導区域】(4件)

番号	質問・要望	該当地域	市の考え方	案の修正
27	都市機能誘導区域はどのように設定したか。	中央部②	都市機能誘導区域は、居住誘導区域の中で、「都市計画マスタープランで拠点の位置付けがあるか」、「誘導施設が現状立地しているか」、「誘導施設が建てられる用途地域か」等を確認し、設定しています。	-
28	市街化区域(黄色)や居住誘導区域(青色)の境界線は曲線で、都市機能誘導区域(赤色)の線は直線なのか。	南西部①②	青色の線は、鉄道駅から半径1kmまたは、バス路線から500mの地点としているため曲線の箇所があり、赤色の線は用途地域の境界線としている箇所が直線となっています。	-
29	拠点が複数あるが、同時に位置付けるのか。	中央部①	都市機能誘導区域の13箇所は計画策定により同時に位置付けます。また、都市機能誘導区域に位置付けできていない三輪や黒野、七郷については、現時点では地域生活拠点候補地として、拠点形成を進めていきたいと考えています。	-
30	都市機能誘導区域が幹線道路沿いにあるのは分かるが、既存の団地などの人口密度が高いところに拠点を設けないのか。	南東部①	本計画では、公共交通を都市の基軸と考えており、公共交通の利便性が高い幹線バス路線沿線を居住誘導区域としています。 都市機能誘導区域は、居住誘導区域の中で、「都市計画マスタープランで拠点の位置付けがあるか」、「誘導施設が現状立地しているか」、「誘導施設が建てられる用途地域か」等を確認し、設定しています。	-

【都市機能誘導施設】(5件)

番号	質問・要望	該当地域	市の考え方	案の修正
31	都市機能誘導施設に福祉施設・保育所・幼稚園は位置付けないのか。	北東部②③④	本計画では福祉施設の内、地域包括支援センターを位置付け、配置にあたっては、既存の計画(高齢者福祉計画)や地域の実情、高齢者人口等を踏まえたうえで検討を進めています。 その他の福祉施設や保育所・幼稚園は、岐阜市全体の立地状況を見ると、広く点在しているため、今回は位置付けていませんが、計画策定後、関連計画と連携を図り、その位置付けを検討していきたいと考えています。	-
32	都心拠点にしか行政施設が都市機能誘導施設に位置付けされていないが、地域にある行政施設はどうなるのか。	柳津(南西部①②)	本計画では、都心拠点において必要と考えられる施設として、市役所本庁舎とコミュニティセンターを位置付けています。 都心拠点以外にある行政施設については、今後担当部局と連携を図り、都市機能誘導施設としての位置付けを検討していきたいと考えています。	-
33	計画には、誘導により公共施設が増えることが示されているが、統廃合により施設が減少することもありえるのではないのか。	南東部②	本計画は、施設の誘致や集約が目的ではなく、生活利便性の確保を目指しています。 公共施設については、今後担当部局と連携を図り、公共施設の適正配置について検討していきたいと考えています。	-
34	誘導施設の設定に際して、福祉窓口となる地域包括支援センター等について、行政内で横のつながりは持っているのか。	南東部②	本計画策定にあたり、福祉の担当部局を含む庁内検討プロジェクトチームを設置しています。 地域包括センターは、地域の住民の福祉サービスに関する総合的な相談窓口であり、都市機能誘導区域内に立地することが望ましいと考えています。	-
35	スーパー等を誘致すると、地元の店舗が衰退していくが、どのように考えているのか。	中央部②	本計画では、スーパー等の誘致や集約が目的ではなく、市民の皆様が買物に困らないよう、商業機能が維持できるまちづくりを目指しています。 そのため、居住誘導区域を定め人口密度の維持を図ることで、地元の商店も維持されると考えています。	-

【ネットワーク(公共交通軸)】:(2件)

番号	質問・要望	該当地域	市の考え方	案の修正
36	立地適正化計画に類似した地域公共交通網形成計画を見ると、バス事業と連携し、現在の直通路線をトランジットセンターで乗継させる方向にシフトしていくと感じているが、バス利用において、今後、便利な地域と、不便な地域に分かれるということか。	北東部②③④	岐阜市地域公共交通網形成計画は、人口減少に伴う利用者の減少や、バス運転手不足などによる公共交通を取り巻く環境が、益々厳しくなると考えられている状況下においても、路線バスやコミュニティバスなどの地域公共交通をできる限り持続できるよう、具体的な計画を定めたものです。 地域によってバス利用者数は大幅に異なるため、地域毎の需要に応じ適切なサービスを提供していくことも必要であることから、サービス水準の高い幹線と地域の需要に合った運行サービスを行う支線バスとに再編し、これを接続させることにより通学や通勤に利用していただけるような交通体系の構築を目指しています。	-
37	高齢者の足となる公共交通が確保されない以上、地域生活拠点候補地は、今後20年経っても変わらない。絵に描いた餅にならないようにしたい。	北東部①	今後も継続して地域の現状を把握し、実状に応じた施策を検討していきます。	-

【実現化方策】(16件)

番号	質問・要望	該当地域	市の考え方	案の修正
38	居住誘導区域の外側の地域において、具体的にどんな施策があるのか。	南東部①	本計画を策定することにより、この計画を推進するための施策に対し、国からの各種支援メニューが用意されています。 具体的な支援策については、計画策定後に関連部局と連携し、そのメリット、デメリットを見極めながら、検討していきます。	
39	地域生活拠点として、施設の誘導を行うための具体的な施策があれば教えて欲しい。	北東部①		
40	届出は着手30日前であるために場所を変更させることはできず、届出義務だけで終わると考える。計画策定後に定める具体的な施策に期待する。	北東部①		
41	都市機能誘導区域内への民間施設の誘導や撤退への抑制策は考えているか。	北西部①②		
42	誘導の施策として、届出だけでなく、スーパーに補助金等を出したらどうか。	北東部②③④		
43	誘導による生活利便性の向上を進めて欲しい。移転してくる人に何らかの優遇があれば、誘導できるのではないか。	中央部①		
44	税の減免、優遇などの支援施策等はあるものがあるのか。	中央部①		
45	立地適正化計画に基づく線引きによって税制はどうなるのか。	柳津 (南西部①②)		
46	「岐阜市まちなか居住支援事業」は実施されているのか。	柳津 (南西部①②)	中心市街地で既に行われている事業です。この事業はまちなかに居住しようとする世帯に対し、住宅取得費用や賃貸住宅家賃の一部を助成しています。	-
47	名古屋へ通勤する人たちが居住できるところを増やしてはどうか。	中央部①	駅前、通勤にも便利で、まちなか居住の増加により、にぎわいの創出にもつながります。本計画の策定により、更なるまちなか居住の推進に向け取り組んでいきたいと考えています。	-
48	病院等をどのように誘導を行っていくか。	中央部②	具体的な施策については、計画策定後にその効果等も検証しながら検討していきますが、まずは、都市機能誘導区域の周りに居住誘導区域を設定し、人口密度を維持することにより、生活に必要な医療機関の維持・充実を図っていききたいと考えています。	-
49	勤め先の誘致は考えていないか。	南東部①	本計画の策定時に連携を図った計画の一つとして「岐阜市まち・ひと・しごと創生総合戦略」があり、その中でしごとの創生の方針において、企業誘致に関する施策が示されています。	
50	岐阜市には働く場所がないため若い人が住まない。人口減少を抑えるために、企業誘致の面ではどのような方針で進めていくのか。	柳津 (南西部①②)		
51	居住を誘導するには、歩きやすい、住みやすいまちづくりが必要。道路等の整備はどのように行っていくか。	中央部②	本計画を策定することにより、この計画を推進するための施策に対し、国からの各種支援メニューが用意されています。 今後は国の支援も含めて検討しながら、歩きやすい道路等の整備を行っていききたいと考えています。	-
52	個人住宅の空き家の増加が心配である。	中央部①	人口が増えない中、空き家が増える傾向にあり、問題が顕在化していくものと思われます。空き家対策として、中古住宅のリフォーム助成など国や県による支援制度がありますので、その周知に努めてまいります。あわせて、本計画を策定し、本市の取り組み方策についても今後検討したいと考えています。	-
53	パブリックコメントの意見に、用途地域の見直しとあるが、これはどういうことか。	柳津 (南西部①②)	パブリックコメントに出された意見の趣旨として、居住誘導区域内の準工業地域については、工場や住宅が混在するなど、居住にふさわしくないため、見直すことも必要なのではないかのご意見でした。 今後、地域の現状を見ながら必要に応じて、用途規制等について検討することも必要であると考えています。	-

【計画の評価・見直し】(7件)

番号	質問・要望	該当地域	市の考え方	案の修正
54	5年毎の見直しでは、期間が長くないか。	南東部①	見直し期間を5年としていますが、地域の状況を確認しながら必要に応じて見直しを行っていきたいと考えています。 計画(案)を、「5年」から「おおむね5年」と修正します。	○ 計画(案) :P65
55	5年で見直すとのことだが、その間にどんどん変化していくのではないか。	中央部①		
56	目標年次が平成47年であるが、具体的な見直しの手法は考えているのか。	南東部②	今後も地理情報システム(GIS)のデータを毎年更新し、地域の現状の変化を把握していきます。	-
57	状況の把握はどのように行うのか。	南東部②		
58	市民等への情報発信はどのように行うのか。	南東部②	広報ぎふやホームページへの掲載、コミュニティセンター等でのお知らせを行い、周知に努めていきます。	-
59	誘導施策、公共交通に関する施策について、具体化計画をきめ細かく情報公開し意見交換してはどうか。	北西部③ (郵送)		
60	計画の進捗状況の説明会を開くのか。	北東部④ (FAX)		

【届出制度】(5件)

番号	質問・要望	該当地域	市の考え方	案の修正
61	届出制度に関して、建築にあたり手間が増えないよう建築確認申請と一体で行うことはできないのか。	北東部①	都市再生特別措置法で定められた手続きであり、建築確認申請等とは別に届出が義務付けられます。	-
62	届出と許可の違いは何か。	北東部②③④	都市再生特別措置法に基づき届出の義務は生じますが、届出に対して、建築を制限するなどの規制を行うものではありません。 また、計画(案)の届出制度の説明図を分かりやすくします。	○ 計画(案) :P54
63	都市機能誘導区域に建てる場合でも届出がある場合とない場合があるようだが、届出が認められないなどの基準があるのか。	中央部①		
64	居住誘導区域外で建築する際に届出が必要とあるが、届出がなされた場合はどうなるのか。	柳津 (南西部①②)	届出制度は、本市における居住や都市機能誘導施設の建築動向や実態を把握し、計画の見直しなど今後の取り組みに活用するための制度であると考えています。	-
65	強制力を持たないのであれば届出制度は何のためにあるのか。	南東部②		

【各地域に関する事項】(9件)

番号	質問・要望	該当地域	市の考え方	案の修正
66	西岐阜駅周辺は利用価値が高いと思うが、空き地(田畑)が多いのはなぜか。	南西部①②	西岐阜駅周辺の地域は、県庁ができたことを機に開発が進みましたが、現状では、全ての土地が開発されているわけではありません。また、都市計画マスタープランにおいて都市機能拠点の副都心と位置付けられ、交通の便が良い土地であるため、本計画では居住と都市機能施設の維持誘導を図る地域と考えています。	-
67	都心区域の都市機能誘導施設に「美術館」や「図書館」とあるが、既存の県美術館や県図書館が移転する計画があるということか。これらの施設は住みよい環境づくりのため、残してほしい。	南西部①②	当該地区にある美術館や図書館等を都心に移転するという計画ではなく、新たにつくる場合には都心拠点に建築するよう、誘導する考えを示したものです。 都市計画マスタープラン(地域別構想)における南西部①の将来目標に、「文化・芸術施設の集積を活かしたまちづくり」が示されていることから、計画(案)を修正することとし、都市機能誘導区域の「西岐阜」に「図書館」「博物館・美術館」を都市機能誘導施設として追加します。	○ 計画(案) :P52,62
68	岐阜清流福祉エリアを市ではどのように考えているのか。	北西部③	岐阜県と連携を図っており、昨年度もそのエリアにおける用途地域の変更を行いました。 本計画では、誘導施設を日常生活に最低限必要な施設と考えていますが、そのほかにも、地域の魅力を高める施設については、それぞれ維持誘導を図っていききたいと考えています。	-
69	早田栄町通りは商業地域であり、都市機能誘導区域に位置付けられている鷺山本通りと同様だと思うが、なぜ、鷺山本通りのように都市機能誘導区域になっていないのか。	北西部③	本計画では、商店街も大切にすべき施設の一つであると考え、商店街振興組合法に規定する商店街振興組合(商店街振興組合連合会の加入団体を含む)の区域を都市機能誘導区域に位置付けています。 計画(案)の商店街内店舗について、その定義を修正します。	○ 計画(案) :P45
70	岩野田の区域設定について、岩野田小学校の南は、田畑が多いが都市機能誘導区域なのか。なぜ、公共交通軸の東側が都市機能誘導区域外なのか。	北東部②③④	都市機能誘導区域は、居住誘導区域の中で、「都市計画マスタープランで拠点の位置付けがあるか」、「誘導施設が現状立地しているか」、「誘導施設が建てられる用途地域か」等を確認し、設定しています。 ご指摘の公共交通軸の東側は、商業施設などの誘導施設が建てられない用途地域であるため、都市機能誘導区域に設定していません。	-
71	長森②地区の都市機能誘導区域が道路沿いの狭い範囲のみである理由は何か。	南東部②	都市機能誘導区域は、居住誘導区域の中で、「都市計画マスタープランで拠点の位置付けがあるか」、「誘導施設が現状立地しているか」、「誘導施設が建てられる用途地域か」等を確認し、設定しています。 ご指摘の道路沿いから外れたところは、商業施設などの誘導施設が建てられない用途地域であるため、都市機能誘導区域に設定していません。	-
72	人口が減少すると説明されたが、北西部は増えていると思われるがどうか。	北西部①②	平成27年の国勢調査では、七郷地区で人口が増えており、市内で増えている地区もありますが、このまま何もしないと、20年後には全地区で減少すると本計画で推計しています。 人口が減少しても暮らしやすいまちづくりを目指すのが本計画の目的です。	-
73	金華地区は、土地の形状として、間口が狭く、住みにくい。使い方も考えてもらいたい。	中央部①	国や県にあるリフォームの支援を活用いただくとともに、地域のまちづくり会などと連携しながら、どういったまちが住みやすいのか相談していききたいと考えています。	-
74	都市機能誘導施設は、既に柳津にはあり、立地適正化計画で目指すものは柳津ではできているため、そこからどうステップアップするかという話ではないのか。	柳津 (南西部①②)	本計画は、人口が減少していくということが避けられない中で、今ある都市機能施設や暮らしやすさを維持するための計画です。	-

●その他のまちづくり等に関する質問・要望

【区域区分】(8件)

番号	質問・要望	該当地域	市の考え方	案の修正
75	今後人口が減少していくのであれば、市街化区域を縮小するなどの見直しが必要ではないか。	中央部②	人口減少や社会情勢の変化等を見ながら、見直しについて検討していきたいと考えています。	-
76	合渡地区は自転車で買い物など外出する場合、時間が掛かり不便である。市街化調整区域が多く建物が建ちにくいのが、どう考えているか。	北西部①②	当該地区は、優良な農地が広がっており蚕食的開発を抑制し、営農環境や自然環境との調和を図る地域であり、都市近郊農業地として保全を図るため市街化調整区域としています。 また、人口減少の中では、市街化区域の拡大は難しいと考えています。	-
77	鷺山(向井)の穴抜きの市街化調整区域はどうかにならないのか。	北西部③	本地区の市街化調整区域は、農業振興地域内の農用地区域として厳しい制限がかかっており、市街化区域とするのは難しい区域です。 ただし、現在地区内には、狭隘な道路等もあることから、対策が必要であると考えています。	-
78	市街化調整区域にトランジットセンターが設定されているが、調整区域を見直すのか。	北東部②③④	平成22年に岐阜県が定めた「岐阜都市計画区域マスタープラン」では、本市を含む周辺市町の人口が減少傾向にあることから、平成32年まで市街化区域を拡大することはないとされています。 今後も、都市の現状をしっかりと把握した上で、市街地の人口動向や都市を取り巻く環境変化などに注視していきたいと考えています。	-
79	JR長森駅をトランジットセンター候補地とするのであれば、市街化調整区域の見直しを行うべきではないか。	南東部②	平成22年に岐阜県が定めた「岐阜都市計画区域マスタープラン」では、本市を含む周辺市町の人口が減少傾向にあることから、平成32年まで市街化区域を拡大することはないとされています。	-
80	JR長森駅がトランジットセンター候補地になっているのに周辺が誘導区域になっていない。調整区域を見直すべきではないか。	南東部② (FAX)	今後も、都市の現状をしっかりと把握した上で、市街地の人口動向や都市を取り巻く環境変化などに注視していきたいと考えています。	-
81	JR長森駅が立派でないから周辺が市街化調整区域であるというのはおかしい。できる限り見直しをして欲しい。 また、地域要望があれば市街化調整区域の見直しを行うのか。	南東部②	また、JR長森駅周辺は、農業振興地域や境川総合治水の関係で開発行為が抑制された地区でもあります。 今後は、JR長森駅周辺のまちづくりについて、地域の方々とも話し合いをさせていただきながら、その手法を研究していきたいと考えています。	-
82	長森駅周辺は、鉄道とバスの連携がとられていない。市街化調整区域であることが原因で交通利便性の向上が他の地域に比べて低いのではないか。	南東部②	JR高山本線の長森駅には鉄道とバスとの乗継ができる施設が無く、バス路線も乗り入れはしておりません。 一方で、JR高山本線、名鉄各務原線と並行した路線バスが充実した地域であり、公共交通の利便性は大変高い地域と考えております。	-

【まちづくり】(7件)

番号	質問・要望	該当地域	市の考え方	案の修正
83	北西部の東海環状自動車道の整備が進んでいる岐阜IC周辺のまちづくりについて、どのように考えているのか。	北西部①②	都市計画マスタープランでは、東海環状自動車道(仮称)岐阜インターチェンジ付近に、新たなものづくり産業集積を図るための「産業拠点形成地区」や岐阜大学を中心とした「学術・研究地区」を位置付けています。	-
84	北西部①には岐阜大学があり、今後岐阜ICも建設予定である。工業、農業、商業全てが連携しないと、名古屋市へ人が流れてしまうため、それらを踏まえた都市計画を考えて頂きたい。	北西部①②	今後は東海環状自動車道西回りの全線開通を視野に入れ、関係部署とともに地域特性を有効に活用した新たなものづくり産業拠点の形成を促進し、活力あるまちづくりを目指していきます。	-
85	岐阜市都市計画マスタープランで示されている産業拠点形成促進地区とは何か。	北西部①②	本市では、雇用創出や所得・人口の増加といった効果が見込まれる「ものづくり産業」等を誘致するため、岐阜市ものづくり産業等集積地計画が策定されています。この計画において、名神高速道路岐阜羽島インターチェンジに近い柳津地域と東海環状自動車道沿道の三輪地域及び黒野地域が候補地として選定されています。	-
86	名鉄廃線敷の跡地利用はどうなっているのか。これにより地域が分断され、まちづくりに影響がある。	北西部③	本市としては、連続的な土地の活用は難しいと考えています。地域からの要望のある個別の区間については、全市的な視点で必要性を判断し、名鉄との協議を行っていきます。	-
87	すぐにも費用を掛けずに自動車を削減する方法として、例えば末尾ナンバーが偶数の車は偶数日しか通れないとすることや市内の交差点を右折禁止にする、3車線の一番左側車線を通行禁止にするなどの施策を実施してはどうか。	北西部①②	外国にもそのような事例がありますが、利用者の理解を得る必要があると考えています。	-
88	徹明校区は、人口は増えているが、年齢構成が高く、子どもが少ないため、自治会の運営も難しくなっていく。そういったことも踏まえ、まちづくりを検討して欲しい。	中央部①	本市では、今後も幅広い年代の方に住んでいただけるように、本計画の実践を進めるとともに、岐阜市まち・ひと・しごと創生総合戦略や岐阜市都市内分権推進構想などと連携を図り、まちづくりを進めていきます。	-
89	高齢者独居、高齢者夫婦世帯が多く、地域のコミュニティを保つのが困難になると感じる。若い人が地域に定着する施策が必要だと感じる。	柳津 (南西部①②)		

【交通】(14件)

番号	質問・要望	該当地域	市の考え方	案の修正
90	トランジットセンターとは何か。	北東部①	トランジットセンターとは、鉄道やバスなど公共交通相互の乗継やタクシー、自家用車、自転車、徒歩など様々な交通手段の結節点です。幹線バス路線の起終点となるトランジットセンターについては、既に整備がされているJR岐阜駅前広場や岐阜大学附属病院などトランジットセンター機能を持っている施設もあります。	-
91	トランジットセンター候補地や拠点バス停候補地とは何か。	北西部③	また、拠点バス停は、幹線バス路線にあるバス停で、支線バス、コミュニティバスと接続しネットワーク化を図るバス停です。	-
92	トランジットセンターの意味と整備の進捗状況はどうなっているのか。	南東部①	トランジットセンターについては、90、91の「市の考え方」を参照。	-
93	具体的にトランジットセンターは進んでいるのか。	北東部②③④	今後整備していくことが必要となるトランジットセンターについては、将来に大きな負担をかけることが無いよう、多様な連携なども視野に入れ検討しています。	-
94	西岐阜駅がトランジットセンター候補地とされているが、トランジットセンターとはどういう意味か。何か計画があるのか。	南西部①②	トランジットセンターについては、90、91の「市の考え方」を参照。 なお、西岐阜駅は、南北に駅前広場が既に整備されています。	-
95	柳津駅をトランジットセンターと位置付けているが、具体的にはどういう計画か。	柳津 (南西部①②)	トランジットセンターについては、90、91の「市の考え方」を参照。 なお、柳津駅は駅前広場が既に整備されています。	-

番号	質問・要望	該当地域	市の考え方	案の修正
96	現在、コミュニティバスの乗り継ぎ拠点としてバローがその役割を果たしているが、トランジットセンター候補地の位置について、156号線沿いなのか、大まかなものか。	南東部①	バスネットワークを維持していく観点から、幹線・支線バスの乗継拠点として、また幹線バスの起終点としてトランジットセンターの候補地を位置付けていますので場所を特定するものではありません。	-
97	市橋線のバス路線が変更になり不便になった。バス路線の再編も立地適正化計画と関係しているのか。バスのダイヤ変更が半年に一回あり、バスを利用しづらい。せめて一年に一回の変更にして欲しい。	南西部①②	バス運転手不足などバス路線の維持が困難となっている状況下において、出来る限りバスネットワークを維持していく観点から、運行の効率化を図ることによりできる限り多くのバス路線を維持していくことを目指しています。 鏡島市橋線及び日野市橋線は、JR岐阜駅から市橋地区の利用者が少なく、長いバス路線で遅延が生じやすいなど利便性も低下していたことから、JR岐阜駅を起点とした路線に見直しを図ることにより、効率的で遅れなどが少なくなる等、効果が出てきております。 バスのダイヤ変更は、年2回程度行っているとのことですが、ご利用者への影響を十分に配慮することも必要と考えており、意見を頂いたことを交通事業者に伝えました。	-
98	バス路線が再編され、八代までは維持されているが、以北は減らされた。岩崎まで維持区間を伸ばすと、バスネットワーク的に良いのではないか。	北東部②③④	利用者の需要に応じた効率的なバス路線に再編することで持続可能な公共交通ネットワークの構築を図っており、今後もその効果を検証しながら必要に応じて再編に取り組んでいきます。	-
99	コミュニティバスの路線が不便である。市だけで対応できるのか分からないが、ボランティアのような民間輸送が参入できるよう、規制緩和ができないか。	北東部①	道路運送法において、NPOなども参入できるよう既に規制緩和はされています。一方で、昨今の痛ましい事故が多発している状況から、会社や運行管理者、運転手の厳罰化の法改正も進んでおり、市としましても、安全で安心できる輸送手段の確保を第一に考えるべきと考えています。	-
100	三輪北、藍川は、ほとんどが市街化調整区域ということもあり、少子高齢化が進んでいる。地域の手足となるコミュニティバスの拡充の配慮をして欲しい。	北東部①	コミュニティバスは、限られた財源で継続して運行していただけるよう継続基準を設定し、地域住民が主体となった運営協議会においてルートや運賃等を協議していただき運行しています。コミュニティバスについては、今後とも地域住民の皆様が中心となって運行を継続したいと考えていますので、そうした意見を運営協議会に上げ、議論していただきたいと考えています。	-
101	コミュニティバスは利用者がほとんどなく、連節バスも学生ぐらいであり、これに市が補助金を出しているようだが、地域のために税金を使っていないのではないか。	北西部③	路線バスやコミュニティバスは、地域の方の移動手段として欠かせないものであり、また、まちづくりの観点からも、大変重要であると考えています。	-
102	名鉄細畑駅は高架であるがエレベーターやエスカレーターが無く、高齢者の利用が大変である。名鉄に要望を言ったが聞いてもらえなかった。	南東部②	駅自体の利便性向上は鉄道事業者が行うものです。バリアフリー化には駅利用者数も関連するため、本計画により鉄道沿線を住みやすくすることに意味があると考えます。	-
103	道の駅にはトイレの設置が義務づけられており、国と県が援助している。県都である以上、JR長森駅へのトイレの設置についても岐阜県に意見をぶつけてほしい。	南東部②	無人駅のトイレ設置については、難しいと聞いておりますが、JR東海に要望していきます。	-

【基盤整備】(21件)

番号	質問・要望	該当地域	市の考え方	案の修正
104	名鉄高架事業はいつ頃から実施する予定なのか。	中央部②	岐阜市、岐阜県、名古屋鉄道の3者で協議を進めており、今後も早期事業化に向けて協議を進めていきます。	-
105	名鉄高架を進めていかないとまちは、変わらないのではないのか。	中央部①	本計画の関連事業に、名鉄高架事業を位置付けています。今後も早期事業化に向けて、岐阜県や名古屋鉄道と協議を進めていきます。	-
106	拡幅前の都市計画道路沿いにセットバックせず建物が建てられているが、なぜ建てられるのか。また、道路拡幅の際は補償を行っているのか。	南西部①②	セットバックなしで建築されている建物は、53条の許可を得ているものと思われる。都市計画道路の事業計画が具体になると規制もより厳しくなりますが、いつ事業が行われるかわからない段階では、法律の基準に適合していれば、許可をしています。 また、事業化の際には事業者が補償しています。	-
107	都市計画道路古市場御望線の今後の事業予定はどうなっているのか。	北西部①②	具体的な事業内容や時期については未定です。まずは、市の中心部と(仮称)岐阜インターチェンジを結ぶ幹線道路の折立大学北線や長良糸貫線の事業を進めていきたいと考えています。	-
108	資料にあるマスタープラン抜粋の図において、都市計画道路の運動場加茂線は整備済ではないのか。	北西部③	お配りした資料の図は平成22年に都市計画マスタープランを策定した時のものであるため、現在では整備済みの区間もあります。	-
109	北西部①には大きな幹線がないと思われるがどのように考えているのか。	北西部①②	基盤整備については、予算の範囲内で実現可能なところから順次事業を進めていきます。	-
110	西部縦貫道は朝晩の交通量が非常に多く渋滞しており、また西部縦貫道につながる東西道路も渋滞している。これら道路整備が進まないで人口減少につながっていくのではないかとと思われるが、どのように考えているのか。	北西部①②	西部縦貫道については、順次整備を進めており、間もなく国道157号交差点南側までの区間で整備が完了する予定です。その他の道路整備についても、予算の範囲内で実現可能なところから順次事業を進めていきます。	-
111	都市計画道路日野岩地大野線の整備が一向に進まないことは大変残念である。	南東部②	各務原市と連携して岐阜県に整備の要望を行っています。また、岐阜土木事務所とも整備に関する勉強会を実施しています。	-
112	面的な誘導には線的な整備が必要であると思うが、資料の都市計画マスタープラン抜粋の概略方針図に都市計画道路日野岩地大野線が入っていないのではないのか。	南東部②	お配りした資料の図には、都市計画道路日野岩地大野線は未整備の都市計画道路として、黄色の線で示しています。	-
113	忠節橋を拡幅する計画があると聞いたがどのような状況か。	北西部③	忠節橋の通りは、県道で都市計画道路でもありますが、改良済であり、拡幅の都市計画は定められていません。 また、橋の北側で渋滞しており、対策が必要と聞いていますが、具体的な整備内容や時期については未定です。	-
114	早田大通りの渋滞は、橋の南側において堤防へ左折する車が原因だと思う。車線数の問題ではないと思うがどうか。	北西部③	現状のままでは渋滞はなくならないと考えます。例えば、左折禁止にしたり、あるいは学生等の自転車や歩行者の横断が原因であれば、歩車分離の信号にする等、より良い対策を考えていく必要があります。	-
115	早田大通りの渋滞対策のために交差点で堤防道路を川側に下ろすことはできないか。	北西部③	橋と堤防道路の立体交差は、渋滞対策になると思いますが、河川の洪水等、安全性の面で問題もあり、河川管理者との協議が非常に重要になると考えます。	-
116	メディアコスモスから駅まで、大阪の心斎橋のような通りを作ってはどうか。また、自転車でも通りにくい道路が多く、バリアフリー化や自転車置き場を増やすなど自転車の乗りやすいまちにしたい。	中央部①	本計画を策定することにより、道路の環境整備も進めることができると考えています。関連計画に、自転車走行空間整備やまちなか歩きルートの整備、ゆとりやすらぎ道空間事業などを位置付けており、歩行空間の整備も進めていきたいと考えています。	-
117	長森は家屋が入り組んでおり、交通安全の観点から車両通行を都市計画道路に流したほうがよい。早く道路を整備してほしい。	南東部②	本計画を策定することにより、計画を推進するための施策に対し、国からの各種支援メニューが用意されており、これにより基盤整備を含めた様々な事業を進めていくことができると考えています。	-

番号	質問・要望	該当地域	市の考え方	案の修正
118	都市化に期待している。道路を拡げると住宅ができる。道路や交通が大事だと考える。期待しているので、何とかして欲しい。	北東部②③④	基盤整備については、予算の範囲内で実現可能なところから順次整備を進めています。	-
119	人口が増加している鶴、日置江、柳津は、道路などの基盤整備が遅れているように感じる。柳津がより住みやすくなるよう整備して欲しい。	柳津 (南西部①②)	現在、増加している地域も将来的には全ての地域で減少すると本計画で推計しています。 基盤整備については、予算の範囲内で実現可能なところから順次整備を進めています。	-
120	両満川と早田川が未整備で、居住区域等にしても氾濫するような地域では魅力がないため、早急に整備をお願いしたい。	北西部③	両満川、早田川、板屋川は県管理河川であるため、河川管理者にお伝えします。	-
121	板屋川の改修が進展していないが、都市計画にも入れてほしい。	北西部①②		
122	岐阜市の水道は、老朽化が進んでいると聞いている。水道網の拡張より、維持管理をすべきではないかと思うが、市内の市街化区域において上下水道の整備はどのくらい済んでいるのか。	南西部①②	上下水道の整備は、市街化区域内では2年ほど前に全域完了しています。 また、市街化調整区域についても、人がまとまって住んでいる地域から順次整備を行っています。	-
123	公園整備について都市計画上の基準はあるのか。また、都市計画の中で公園整備の計画はないのか。	南東部②	公園の担当部署において、緑の基本計画に基づき整備が行われます。	-
124	都市計画の中で公園整備の計画はないのか。担当部署に任せただけなのか。	南東部②	身近な緑地や公園について、都市計画マスタープランで整備方針を定めています。	-

【農地】(2件)

番号	質問・要望	該当地域	市の考え方	案の修正
125	岐阜大学周辺は市街化調整区域が多く、農地が広がっている。農地に対しても何らかの計画がないと地区が活性化しないのではないかと。	北西部①②	岐阜農業振興地域整備計画の中で生産性の高い集団農地の保全に努めるなど、地域の実情を考慮して農業の振興を図っています。 また、農地中間管理事業や農業経営基盤強化促進事業を活用し、地域の担い手に農地を集積することで、農地の適正かつ効率的な利用を推進しています。	-
126	市街区域であつても農地を残すという方針が示されたはずだが、立地適正化計画はこの計画に整合しているのか。	柳津 (南西部①②)	平成27年4月に都市農業振興基本法が施行され、本市においても農林部を中心に対応を検討しています。本計画は農地を積極的に宅地化するものではないため、都市農業とも連携を図りながら進めていきたいと考えています。	-

【行政サービス】(7件)

番号	質問・要望	該当地域	市の考え方	案の修正
127	コミュニティセンターにおける行政サービスを充実して欲しい。	北東部①	本市では、岐阜市都市内分権推進構想を策定し、「住民自治の拡充」「地域の住民サービスの拡充」「地域の拠点づくり」を進めています。	-
128	市役所まで行かずとも、コミュニティセンターで市民サービスをすべて受けられるようにして欲しい。	北東部①	地域における行政サービスの充実については、「地域の住民サービスの拡充」を進める中で検討しています。	-
129	名古屋市と比較すると、育児に掛かる費用が高いと感じている。	北西部①②	名古屋市と比較しても充実していると思われるが、PR不足かもしれません。 本市では、岐阜市まち・ひと・しごと創生総合戦略における「ひとの創生」の中で、子育て支援への施策など本市の将来に向けた施策が示されており、今後も担当部署と連携を図っていきます。	-
130	都心と郊外とあまり土地の価格が変わらなくなってきているが、都心は固定資産税が高い。税金を下げることも考えて欲しい。	中央部①	土地の固定資産税は、不動産鑑定評価を行うことで適正な評価額を算出し、これを基に決定しています。	-
131	犬の糞放置について、条例は知っているが、何か対策ができないか。	中央部②	「犬のフンの放置防止用啓発看板」を配布し、啓発活動を行っています。	-
132	人口減少等により市役所の利用者が減少すると考えられる。新庁舎は本当にあれだけの規模が必要なのか。基本計画段階で市民の意見を聴いていない。	南東部②	新庁舎の延床面積は、様々な機会を通じていただいた市民の皆様や専門家のご意見を踏まえ、適正な規模として決定したものです。	-
133	藍川、三輪地区は通える高校に限られる。また、バスの本数も少なく、バス代も高いため、通学に対する何かしらの支援、補助が出来ないか。	北東部① (Eメール)	現在、県や市による、経済的な理由による就学困難な高校生を対象とした、貸付や給付金の支援制度があります。 詳細は、市が発行する「親と子のハンドブックぶりあ」、もしくは市のホームページでご確認いただけます。	-